

いながわ さとみ
稲川 聡美さん
(下延生)

芳賀町に生まれて思う事

私の幼い頃は、自ら進んで人前に出るような子どもではありませんでした。小学校で櫻井先生に担任を受け持っていただいたおかげで、前よりも積極的に行動ができるようになりました。中学校・高校の吹奏楽部では部長も経験させていただき、辛く苦しいこともありました。いつも支えてくれた先生や友人・家族がいて充実した生活を送ることができました。

夏のコンクールが近づく中、町民会館の素晴らしい環境で練習させていただいた事、友人と情報館で試験勉強や課題に励んだ事も懐かしい思い出です。人に温かく環境が整っている芳賀町が私は大好きです。

これから先、社会人になった時に、少しでもこの大好きな故郷に恩返しができる生き方をしたいと考えています。これからも子どもたちに寄り添い、味方である芳賀町でいてください。

おおつ けいご
大谷津 佳吾さん
(芳志戸)

遠くて近いみんなへ

我々新成人は、狂乱の時代の真っ只中に成人の日を迎えることとなり、多くの方が期待していた日とは異なる形だったのではないかと思います。20歳という節目の年に新型コロナウイルスが蔓延してしまったことは誠に残念なことです。されど我々新成人は、スマートフォンやPCによって連絡を取り合い、少なくとも私は友人の無事を確認でき安心しました。会えずとも昔と変わらぬ友人がどこかで頑張っているということは喜ばしいことです。そして皮肉にも、ウイルスのおかげで故郷の存在がいかに大きな心の支えであったか気づかされました。成人式は中止となってしまいましたが、いつかまた会える日を胸に、私は今日を生き抜こうと思います。目に見えない敵などに負けず、どうか皆さまも無事でいてください。

てつか ゆうき
手塚 優希さん
(西高橋)

ふるさと芳賀町

今年は例年と異なり大変な時期になっていますが、こうして元気に成人の日を迎えられたのは家族、地域の皆さま、今まで支えてくださった皆さまのお陰だと思います。この場をお借りして心より感謝申し上げます。

最近は暗い話ばかりを耳にしますが、私のまわりではよく嬉しい話を聞きます。大学、専門学校などが理由で芳賀町を離れ生活している友人が、早く芳賀町に戻りたいと言っています。その話を聞いてとても嬉しく思いますし、住み心地のよい町なのだなど実感します。芳賀町は、地域のつながり、人と人のつながりがとても強いと思います。多くの方が助け合い支えあっていることを私も社会人になり改めて感じました。

これからは私たちも芳賀町、地域の方々を支える側となり、皆さまと一緒によりよい芳賀町にしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。